

# 国会議員へ はがき作戦

## 「安保法案反対」届け



参議院で審議中の安保関連法案の廃案を求める市民団体「諏訪湖・八ヶ岳地域ぐるみの会」が、国会議員への「はがき投函行動」を呼びかけている。

委員の計6人で、裏面には、法案が憲法違反だとし「安保法案を直ちに廃案にして下さい」などと印刷されている。自由に意見を書く欄もある。

委員の計6人で、裏面には、法案が憲法違反だとし「安保法案を直ちに廃案にして下さい」などと印刷されている。自由に意見を書く欄もある。

委員の計6人で、裏面には、法案が憲法違反だとし「安保法案を直ちに廃案にして下さい」などと印刷されている。自由に意見を書く欄もある。

委員の計6人で、裏面には、法案が憲法違反だとし「安保法案を直ちに廃案にして下さい」などと印刷されている。自由に意見を書く欄もある。

スポット・スタンディングで掲げるアピールカードを手にする毛利弁護士(左)と呼びかけ人の武井秀夫さん(中央)、地域ぐるみの会共同代表の宮坂良夫さん(右)が、国会議員への「はがき投函行動」を呼びかけている。呼びかけ人の毛利正道弁護士(左)と武井秀夫さん(中央)は、はがきの料金は後払いで、購入者への送料も地域ぐるみの会が負担する。

8月中旬に開いた2回の反対集会には、それぞれ550人、400人が参加。カンパも40万円余が集まったという。

このほか、国会周辺での抗議行動への参加希望者には、上京の交通費の一部2千円を補助する。毛利さん(66)は「参院での採決まで、もう時間がない。とにかく、やれることは何でもやりたい」という。

3日から連日、午後5時半から30分間、JR上諏訪駅前や、茅野駅前、ラオカヤ前などでアピールカードを掲げるスポット・スタンディングへの参加者も募っている。(三浦亘)

(第3種郵便物認可)

# 安保法案廃案はがきで

諏訪地域の住民有志でつくる「海外での戦争に道を開く閣議決定白紙撤回」諏訪湖・八ヶ岳地域ぐるみの会」は、安全保障関連法案の廃案を求める「はがき投函行動」への参加を呼びかけている。(中沢稔之)



地域ぐるみの会が用意したはがき

市のJR茅野駅前への参加も呼び掛けている。前、下諏訪町の武井医院前の四力所で、チラシを掲げて廃案を訴える「スポット・スタンディング」も開始。毎日午後五時半から行い、15時30分開始。毎日午後五時半から行い、15時30分開始。

中日

# 「安保法案反対」はがき 議員へ送ろう」

## 諏訪の市民団体

参院で審議中の安全  
保障関連法案の廃案に  
向け、国会議員にはがき

きで働き掛けようと、  
諏訪地域の市民グルー  
プ「諏訪湖・八ヶ岳地  
域ぐるみの会」は、参  
院議長らの宛名を印刷  
したはがきセット（6  
枚1組、200円）を  
作った。呼びかけ人の  
毛利正道弁護士（66）は  
「反対の意思を議員に  
示してほしい」と話し  
ている。

はがきセットは4日  
から有料配布する。当  
面400セットを用意  
し、追加も検討する。  
印刷した宛名は、議長  
のほか参院特別委員長  
と公明党の同委員。裏  
面はタイトルと法案に

10月



街角でのスポット・スタンディング活動について説明する毛利正道弁護士（左）ら—諏訪市役所で

反対する理由のほか、  
「戦後憲法の根幹であ  
る国民主権を破壊する  
ものであり、主権者と  
して決して認めるこ  
とができない」と記  
した。自由記入欄も  
ある。

11日までの投函を呼  
びかけている。問い合  
わせは毛利弁護士（0  
90・4096・70  
65）へ。料金は後払  
い。  
また、同会は3日、

【宮坂一則】

## 安保法案の 廃案求める

### 国会議員へ

### はがき投函

### 地域ぐるみの会

安全保障関連法案の  
審議が終盤を迎えた  
中、諏訪地域の有志で  
つくる「海外での戦争  
に道を開く閣議決定白  
紙撤回」諏訪湖・八ヶ  
岳地域ぐるみの会」  
（通称「地域ぐるみの  
会」）は、同法案の廃  
案を求め、国会議員へ  
の「はがき投函（とう  
かん）行動」やスポッ  
ト・スタンディングな  
どに取り組む。

「安保法案は独裁に  
つながる」などとし、  
はがきには「安保法案  
を直ちに廃案にして下  
さい」と印刷。参院の  
議長、平和安全法制特  
別委員会の委員長と委  
員4人（公明党議員）  
の計6人に、11日（金）  
までに送る。1セット  
（はがき6枚）200  
円で、きょう4日から  
販売。参加を呼び掛け  
ている。  
はがきの申し込みは  
呼び掛け人の毛利正道  
さん（ファクス75・  
1513、電090・  
4096・7065）  
へ。

た。

同会はこの他に、国  
会周辺で行われている  
行動に参加する際の補  
助（1人1回2千円）、  
各種集会・パレードの  
開催支援などにも取り  
組む。先月22日に諏訪  
市内で開催した諏訪地  
区総行動で集まったカ  
ンパを資金に充てる。  
同会の世話人会共同  
代表の宮坂良夫さんは  
「憲法ができた意義を  
大事にしながら、平和  
な日本を次代に引き継  
いでいきたい」と話し  
ている。

市民

# ■ 諏訪ではがき送付など呼び掛け

安全保障関連法案に反対する市民グループ「諏訪湖・八ヶ岳地域ぐるみの会」は2日、国会議員への「はがき投函行動」や諏訪市のJR上諏訪駅前などでプラカードを掲げる活動に取り組むと発表し、市民の参加を呼び掛けた。

はがきの送付先は、参院平和安全法制特別委員会の鴻池祥肇委員長（自民党）や委員会所属の公明党参議院議員ら6人。はがきは地域ぐるみの

会が用意し、裏面には法案の廃案を求める文面と、自由記述欄を設けた。

プラカードを持ち、通行者に廃案を訴える「スポット・スタンディング」は3日以降当面、毎日午後5時半～6時、岡谷市のラオカヤ前、下諏訪町の武井医院前、JR上諏訪駅前、同茅野駅東口前で実施。また、これまでの集会で募ったカンパを財源に、国会前の集会参加者には2千円を

助成する。

この日は地域ぐるみの会世話人会共同代表の宮坂良夫さん(68)のほか、医師の武井秀夫さん(83)と弁護士毛利正道さん(66)が諏訪市役所で記者会見。武井さんは「安倍政権が目覚めない限りこの国の

未来はない。手を抜いたら負ける」と強調した。はがきは1組200円で販売。事務局（ファクス0266・75・1513）に申し込む。問い合わせは毛利さん（090・4096・7065）へ。

## 安保法案廃案を訴える行動提案

「地域ぐるみの会」

諏訪地方の護憲団体「諏訪湖・八ヶ岳地域ぐるみの会」は2日、参院で審議中の安全保障関連法案の廃案を訴える行動内容を発表した。法案成立阻止に向け、参院議員宛てのはがきの投函や街頭活動への多くの参加を呼び掛けている。

3日以降、毎日午後5時30分～6時に、上諏訪駅前、茅野駅前、ラオカヤ前、下諏訪町の武井医院前の4カ所で「戦争するな！」などと記したアピールカードを掲げて法案反対の意思を示す機会を設定。賛同者に行動に加わってもらおうか、

参院議長や平和安全法制特別委員ら6人に対し、廃案を求めるはがきを送ってもらう。

同会呼び掛け人の毛利正道さん(66)は、法案について「政権党の自由裁量で武力行使が可能になる。戦後憲法の根幹である国民主権が破壊される」と批判。諏訪を含め全国で行われた8月30日の反対行動の規模に言及、「国民が安倍内閣を追い詰めている。採決で否決される事態もあり得る」と、行動のさらなる広がりに期待を寄せた。

はがきは6枚1セットを200円で販売する。投函希望や問い合わせは、毛利さん（電話090・4096・7065、ファクス02666・751513）へ。（寺田英祥）

長野日報